

Evidence Implementation Training Program



The Otemae University
Implementation Centre
A JBI Affiliated Group



WORLD HEALTH DAY

うまくいっていますか・・・？

「エビデンス」に基づく実践

本学の教員と一緒に
Evidence Based Practice
を探究しませんか？

エビデンス実践コース
第2期生募集

臨床現場 × 大学機関

大学と共に根差す 「エビデンスベースド」

「好きな英語を活かして何かをやってみたい」

「患者さんによりよい看護を提供したい」

「自部署に有効なエビデンスを定着させたい」

「研究の考え方を大学教員と学びたい」

《 問い合わせ先 》
国際看護研究所代表メール
E-mail: ignosaka@otemae.ac.jp

セミナー講師
Otemae University
Implementation-JBI Center
Director
国際看護研究所 所長
西村直子
(大手前大学国際看護学部)



大手前大学国際看護学部は、様々な医療機関等と協働して、エビデンスの定着を目指しています。

Otemae University Implementation-JBI Center 主催

EBCFP (Evidence based clinical fellowship program)

エビデンス ベースド クリニカルフェローシッププログラム

研修プログラム

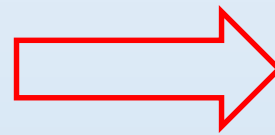
①5日間の計画書作成のための研修、②22週間のプロジェクト実行、③5日間のレポート作成のための研修の半年間を1クールとします。

①5日間の計画書作成

Week1 11, 12月の土日どこか5日間
Day1:エビデンスの臨床での実践
Day2:リーダーシップ
Day3:PACES
(ソフトウェア説明)
Day4:計画書作成
Day5:計画書発表

②22週間のプロジェクト実行

22週間



現場での
エビデンス
の実施

③5日間のレポート作成

Week2 6月 5日間
Day1:現場での実践報告
Day2:レポート作成
Day3:JBIとの連携
Day4:レポート作成
(引き続き)
Day5:レポート内容の発表

②の22週間のプロジェクトの流れ

第1段階 ベースライン

- ・チームメンバーを決定する
- ・JBI所有のPACES(ソフトウェア)を使用してデータ収集する

第2段階

- ・ベースラインの結果をチームで話しあい、バリアを特定する
- ・GRIP(get research into practice)法を用いて、対策を講じる

第3段階 フォローアップ

- ・第1段階からどれくらいコンプライアンスが改善したか調査する
- ・6ヶ月間の実践についてレポートを仕上げる

JBI学会誌に英語で論文投稿する

皆さんは、
このプロジェクトの
リーダーになります

本学教員は、6か月間・
英語論文投稿までを
フルサポート!

研修費用

■ 440AUD(オーストラリアドル)・・・日本円:41,300円(2022年6月現在)

事前説明会

所要時間:1時間(30分説明、30分質疑応答)zoomで行います。



ぜひ説明会に
ご参加ください!

ご所属、氏名、メールアドレス、説明会希望と
本文に記載し、国際看護研究所代表アドレスに
メールしてください。
日時は相談の上決めさせていただきます。

《申し込み》 国際看護研究所代表メール
E-mail: ignosaka@otemae.ac.jp